



みんなで踊ろう

(地域の高齢者と本学部生によるダンス公演の開催を目的としたダンス・ワークショップ)



📍 実施年度

2017年度～継続中

📍 主な連携先・メンバー

堺市／関西大学人間健康学部
原田純子ゼミ／Performance
Theater KAYMO (学生サークル)

📍 活動地域

大阪府堺市／関西大学
堺キャンパス

👉 活動の目的

- ・公演のためのダンス創作過程において高齢者と学生とが共創活動を行い、その経験を学びとする
- ・公演の開催は、堺市民に対する身体表現芸術・文化の啓蒙と普及を目的とする

👉 連携にいたる経緯

堺市と関西大学との地域連携事業として企画・運営。2011～2016年度は“ダンス・ワークショップ”、2017年度から“みんなで踊ろう”というテーマで、年に一度本学部学生と共に創る公演を開催。

👉 活動内容



2011～2016年度の“ダンス・ワークショップ”では、堺市在住の高齢者を対象に健康のための身体ほぐしとダンス創作・表現活動を実施。参加者の表現力と活動への取組みが向上してきたことを機に、2017年度より舞台発表を目標とする“みんなで踊ろう”を企画。参加者の7割程度はリピーターだが、新規受講者と15名程の学生・卒業生も参加し、総勢40名程度で11月に公演を実施している。

公演における作品は、地域の参加者と学生がグループを組み、ダンス創作はもちろんのこと、衣裳のデザイン・制作なども一緒に行い、「共創」を実現している。また、公演の鑑賞者が、次年度は自分も参加したいと思うような活動に成長しており、実際に数名が次年度の活動に参加して舞台に立っている。

👉 活動の成果

- 1 地域の参加者（高齢者）にとっては、参加者同士、または若い学生たちと共に活動に取り組むことによって、互いに影響を及ぼし合い、身体的、精神的、感性的に活性化されている
- 2 学生にとっては、年の離れた参加者をリードして意見をまとめ、活動面で具体的なサポートをすることにより、実践的・経験的に自己実現や社会貢献に向けて行動する力を身につけている
- 3 地域の参加者と学生が学外でも交流を深めている

👉 今後の課題・目標

- 1 地域の参加者が、より主体的に関わる活動へと成長する
- 2 2週間に一度の活動であるので、体力を落とさないための手立て（運動アドヒアランス）を考える
- 3 地域の中その他団体（例えば、他の高齢者グループや障がい者）との交流をもって、互いを高め合う

👤 教員紹介

人間健康学部教授 原田 純子（はらだ じゅんこ）

「舞踊不選人（ダンスは人を選ばず）」を掲げ、人間教育としての創作ダンス・身体表現活動を研究・実践。地域の高齢者との活動のほかに、小・中・高校の先生方とのダンス授業研究会等も実施している。専門は舞踊教育学。



事業
領域

堺市推進事業

健康づくり・
地域福祉の推進

人間健康学部推進事業

教員の専門分野・
学生活力の活用

